

ひろく

歯科 クリニック新聞



2013.7月号

COの話

要観察のムシ歯...ということでCOという言葉があります。

ちと前までは「むし歯」なのですが、今は小学校の検診票の中の項目に上がっています。

ムシ歯に観察も何とないのでは???と思われる方も多々と思いますが、進み方によってC1からC4に分けるだけでは、実際にあわはいることがあるので、COという考え方が出てきました。

必ずしも今、削らなくても...もし削ら進まないかもしれない...再石灰化が起るかもしれない...ということで、経過をみています。もちろんただ漫然とみていくだけでは、悪くなるのを待っているだけですから、必要なことは伝えていきます。

歯ブラシの回数、時間、使い方などの確認、甘いもの量、時間、回数などの確認、など今までの習慣を見直す事は必要です。

その上で フッ素を利用して悪くなるのを防ぎます。


先日的小学校での歯科健診でも、この要観察歯COの歯をたくさんみられました。



特に6歳臼歯によくみられます。


今から長い間使う事になる大切な6歳臼歯です。

ムシ歯になってしまえば削ることはなりますが、ムシ歯のなりかけより「歯ブラシを頑張り、進行しないようにする」というのを優先的にいれよう。

長い目で見ると、歯が「可なり」になるのは、子供達
にとって大変メリットが大きいと感じています。

山内千咲が帰ってきました!!! 

去年、糸野産退職しました山内千咲が
「ひらひら歯科クリニック」に帰ってきました!!!
1週間に1日、水曜日に登場!! 可なり楽しくなっております。
みなさん、よろしくお願ひします。  

女子力アップセミナー 
今回で5回目となりました!!

可なり宗像よりビューティーサロンを運営されている
山口美子先生に来ていただきました。
今回のメインテーマは、「リンパマッサージ」ということで、
スタッフのみんなも実技を交えながら受講していただきました。
自分のためにも患者さんのためにもマスターしていきましょう。